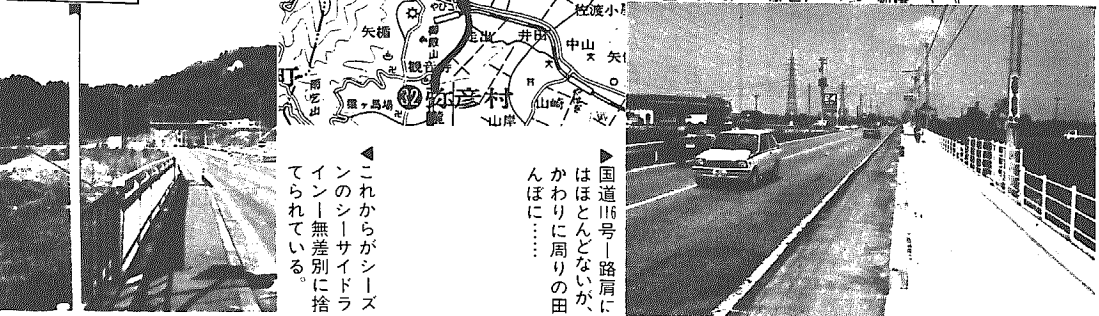


空き缶 舗装道路はほとんどが……

……ワースト路線



▲散乱が特にひどい 基幹農道北野線



▲国道16号1路肩にはほとんど空き缶が、かわりに周りの田んぼに……

▲これからがシーズンのシーサイドライン―無差別に捨てられている。

〔証言⑤〕……うちでは自動販売機の脇に缶入れを設置していますが、この中に入れる人はここで飲んだものでなく、よそで買って飲み上げたものを入れるようです。こういう人はまあまあいい方だと思います。市街の自動販売機で買って、車の中で飲み終えた距離――農道脇なんかにかたまって散乱しているように、売っている側としても本当に心ざみしいことです。

(和納四区・加藤重孝さん)

空き缶の散乱――岩室村にとっても他人ごとでないことは、前記のとおりです。

そしてこの散乱は、何とんでもわたしたちのマナーの低下に問題があります。自分の家の庭や側溝に投げ捨てる人はまずいませんが、他人の所となるともう平気です。そしてそのあとは野となれ山となれ……。こんな身勝手さが改まらないかぎり、この問題は解決しそうにはありません。

――ところで、清涼飲料水の缶は一個つくるのに、いくらかかるとは思います。約三十円くらいかかるといわれます。

飲んだあとは投げ捨てるのはもとより、単なるゴミ……というのでも、何とももったいない話です。再利用の道を開かないと……

たまらない……空き缶の投げ捨て



―だれがきれいにするんだろう?―

雪消えを待つかのように草木は芽を吹き、春が来た。道端にのびのびと顔をのぞかせる。あれれ……?、つくしに混って顔を出してきたのは、投げ捨てられた空き缶たち……。

× × ×

一つづらいいらいだろ……こんな軽い気持ちで捨てられた空き缶は、毎年10億個ともいわれています。これでは街がきれいになるはずがありません。

確かに、手軽で、丈夫で、保存のきく缶入り飲料は、消費者にとって大きな魅力。しかしその一方で、投げ捨てられた空き缶が村内の自然や街並みを汚しています。美しい環境を守るためにも、空き缶は必ず決められた場所に捨てたいものです……。



一年間に生産される缶ビールや缶入り飲料は、約百億個。このうち約半数が屋外で飲まれています。

空き缶の散乱の問題は、各自が空き缶をゴミ箱に入れるなり、家に持ち帰っていれれば起りません。しかし、その簡単なことができない、わずかな心ない人たちのために、街や公園は空き缶で汚れ、それを清掃するために多くの人たちが苦勞しています。

「捨てない」習慣をつくり上げる

「空き缶公害」をなくすのは、「捨てない」「持ち帰る」「拾う」――この三つの実行につきていこう。もちろん、捨てなければそれで問題は解決ですが、初めからそううまくいくはずありません。大切なのは「捨てない」という習慣をつくり上げること、そのためには「拾う」という行動が必要になってくるのです。

なぜなら、空き缶を拾うことで、清掃がどれほど大変なことかわかるでしょうし、ゴミがどれほど汚く見え、他人に迷惑なのか分かると思います。そして何よりも大事なこと、ゴミを拾う姿を見た人が、ゴ

ミを捨てる行為は恥ずかしいことだと気づくことにあります。「拾う」というのは、初めはおつうなこともかもしません。ですから、体得という言葉があるように「拾う」ことを体で覚え、生活習慣の一つにしてしまふことが大切なのではないでしょうか。

小さい子どもはよく落書きをします。親が消しても子どもはまた落書きをします。親は成長し、落書きをしないようになっていくのです。

空き缶公害をなくすのは、一朝一夕にできることではありません。けれども、一人ひとりが道端の空き缶を拾い続けていくことで、社会全体のモラルを向上させることになるのです。本村でも地域子ども会、岩室中学校あすなろ会、老人クラブなどでボランティアとして、空き缶拾いを行っています。

こうした行動は何より美しい街づくりに役立ち、さらに地域のみなさんが参加していくことで、よりよい地域社会を形成していくことに、つながるのではないのでしょうか。

〔証言①〕……いや、実にひどいものです。うちは県道に面し、しかも信号機があります。だから停車中に飲んで、空き缶はうちの前の川にポイッ。まったく業が煮えますワ!!

(極曾・三富チキさん)

〔証言②〕……目の前にくずかごがあってもだめなんです。芝生の上や弥彦浦遊歩道など、もう無差別ですわ。これから春の行楽シーズンですが、空き缶を中心にした毎日大変です。

(センター白岩管理人・田中孝)

〔証言③〕……春普請で用排水路のドロ揚げをしました。交差点の周り、側溝の中など空き缶だらけ……。特に基幹農道北野線の道端なんかもう大変です。今の時期は草もないのでわかりませんが、これから夏草刈りの時なんか、草刈り機の刃に当たって、そりやもうひどいもんですよ。

(和納二区・相沢征支郎さん)

〔証言④〕……毎年夏休み中に通学路の空き缶拾いをしていきます。通学路の周りだけでも、相当の量の空き缶を回収します。なかには缶を袋に入れたまま道路脇に捨てているのもあり、こんな形で散らかす大人って最低だと思えます。

(岩中生徒会長・川上克くん)